

国九整企画第3号
令和5年4月26日

北九州市長 武内 和久 殿

国土交通省 九州地方整備局長
藤巻 浩之
(公印省略)

直轄事業の事業計画(北九州市関連分)について(通知)

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当局における令和5年度当初予算に関する地方負担を求める事業計画のうち、北九州市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

令和5年度当初 北九州市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

改築事業(幹線道路ネットワーク整備)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R5年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道3号	黒崎バイパス	L=5.8km	945	2,323,000	99,479	3,000	11,521	0	0	2,437,000	812,333	・調査推進: ・調査設計 ・用地補償: ・支障物件移設補償 ・工事推進: 黒崎西ランプ橋下部工・上部工、床版工	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約92% 春の町ランプ～前田ランプ L=1.5km(2/2)(4/4) 令和5年3月18日開通済 陣原オンランプ 令和5年3月18日開通済
合 計				2,323,000	99,479	3,000	11,521	0	0	2,437,000	812,333	残事業費:約50億円	

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の用地進捗率は、令和5年3月31日時点である。

(注) 備考欄の事業進捗率は、令和5年3月31日時点である。

(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費、用地進捗率、事業進捗率については、他の都道府県政令市の区間を含む。

(注) 備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和5年度当初 北九州市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅰ種)

箇所名等	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)								地 方 負担額	R5年度事業内容	備考
			内 訳						計				
			工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附带工事費	事 業 車両費					
国道3号	福岡3号交通安全対策	—	—	10,000	24,834	0	166	0	0	35,000	11,666		
	┌ 三萩野歩道改良	—	—	10,000	4,922	0	78	0	0	15,000		・調査設計 ・工事	
	└ 福柳木交差点改良	—	—	0	9,956	0	44	0	0	10,000		・調査設計	
	└ 折尾駅入口交差点改良	—	—	0	9,956	0	44	0	0	10,000		・調査設計	
国道10号	福岡10号交通安全対策	—	—	181,000	22,110	0	890	0	0	204,000	68,000		
	┌ 潤崎・下真交差点改良	—	—	100,000	9,520	0	480	0	0	110,000		・調査設計 ・工事	
	└ 朽網小入口交差点改良	—	—	81,000	12,590	0	410	0	0	94,000		・調査設計 ・工事	
合 計		—	—	191,000	46,944	0	1,056	0	0	239,000	79,666		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 備考欄に開通予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和5年度当初 北九州市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅱ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R5年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道2号 国道3号 国道10号	—	—	—	89,000	17,290	0	1,710	0	0	108,000	54,000	防護柵、区画線、視線誘導標、情報提供機器(情報提供板)、情報収集機器(CCTV)	
合 計			—	89,000	17,290	0	1,710	0	0	108,000	54,000		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

令和5年度当初 北九州市における事業計画(道路関係[直轄])

電線共同溝事業

箇所名等	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)								地方 負担額	R5年度事業内容	備考
			内 訳						計				
			工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附带工事費	事 業 車両費					
国道3号	福岡3号電線共同溝		455,000	38,240	1,000	760	0	0	495,000	247,500			
	春の町地区電線共同溝	L=1.2km	19	179,000	12,710	0	290	0	0	192,000		・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
	筒井地区電線共同溝	L=0.5km	10	146,000	11,750	1,000	250	0	0	159,000		・調査設計 ・支障物移設 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
	則松地区電線共同溝	L=2.4km	27	130,000	13,780	0	220	0	0	144,000		・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
国道10号	福岡10号電線共同溝		261,000	25,548	1,000	452	0	0	288,000	144,000			
	片野新町地区電線共同溝	L=1.4km	18	94,000	12,838	0	162	0	0	107,000		・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
	霧ヶ丘地区電線共同溝	L=2.1km	27	167,000	12,710	1,000	290	0	0	181,000		・調査設計 ・支障物移設 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
計				716,000	63,788	2,000	1,212	0	0	783,000	391,500		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の完成予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 備考欄に完成予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で完成時期を確定する予定である。

令和5年度当初 北九州港（港湾管理者：北九州市）における事業内容等（港湾関係）

（様式1）

港湾整備事業

（単位：千円）

港名	施設名	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額						計	地方 負担額	事業内容	備考
				内訳									
				工事費	測量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯 工事費	事業 車両費				
北九州港	～響灘東地区国際物流ターミナル整備事業～												
	響灘東地区		119										令和一桁後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境（注2）が整った段階で確定予定
	岸壁(-10m)	L=180m		<1,360,000>						<1,360,000>	<612,000>	裏埋工 陸上地盤改良工	
				1,465,000	161,000	0	44,000	0	1,000	1,671,000	751,950		
	～新門司地区複合一貫輸送ターミナル整備事業～												
	新門司地区		316										令和一桁後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境（注2）が整った段階で確定予定
	航路(-10m)	A=4,200,000m ²		<214,400> (400,000)	<24,600>					<239,000> (400,000)	<107,550> (180,000)	付帯施設整備	
		865,000		64,000	0	0	0	0	929,000	418,050			
	泊地(-10m)	A=950,000m ²									付帯施設整備		
				9,000	51,000	0	212,000	0	0	272,000	122,400		
計				<1,574,400> (400,000)	<24,600>					<1,599,000> (400,000)	<719,550> (180,000)		
				2,339,000	276,000	0	256,000	0	1,000	2,872,000	1,292,400		

<>書きは令和4年度国債の令和5年度支出分で内数

()書きは令和5年度国債の令和5年度支出分で内数

(注1) 端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。

(注2) 「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。